平成 21 年 10 月 1 日

吹田市教育研究大会 事務局発行

吹田市教育研究大会を8月21日(金)メイシアターにて開催いたしました。第3回目の今年度は、 当初の一日開催の予定が、新型インフルエンザ対応の影響で、分科会・展示報告のみの午後半日開催 となりました。「学校がすき・家庭がすき・地域がすき~地域に根ざした質の高い公教育の創造~」を 大会テーマとし、5つの分科会と9本の展示報告を行い、吹田市内幼稚園、小・中学校の教職員のべ 1258名の参加をいただきました。各分科会や展示報告では、各学校園での取組の発信もたくさん いただき、すばらしい吹田市内の学校園の実践を共有化することができました。

多数の皆さんの参加、実践報告、そして会のスムーズな進行にあたってのご協力ありがとうございました。また、アンケートによるたくさんのご意見や感想もたくさんいただきました。次年度以降の企画に生かしていきたいと思います。研究大会の各分科会等の様子と皆さんからのアンケート集約の一部を紹介させていただきます。(◆参加者感想)

- ◆全体会がなく残念だったが、分科会が充実していてよかった。
- ◆3 時間の研究大会でしたが、ぎゅっと中身がつまっていて、有意義な ひとときであった。
- ◆10·20·30 年後の子どもたちのためにがんばれる勇気をもらった。



			アンケート	アンケート集計			
分科会	会場	参加人数	回収数	とても	白かった	余り良く	良く
			四秋致	良かった	良かった	なかった	なかった
A. 授業力UP	中ホール	406	168	19.2%	66.4%	12.7%	1.6%
B. 授業改革	展示室	149	54	36.5%	54.8%	8.7%	0.0%
C. 言語力育成	レセプショ	173	59	25.2%	70.3%	2.7%	1.8%
	ンホール					2.7/0	1.0/0
D. 幼稚園·特別支援	集会室	174	72	49.6%	49.6%	0.7%	0.0%
E. 生徒指導	大ホール	356	170	10.7%	76.2%	11.3%	1.8%
計		1258	523	23.2%	66.5%	9.0%	1.3%

A分科会 授業力UP

①「ともに考えよう!学校が元気になるための授業研究会」

子どもの学びに焦点を当てた授業研究について、実践事例報告と、模擬校内研修を行いました。関西大学山住勝広教授からは、学校や学級の個別具体的な状況に応じた授業づくりやチャレンジングな授業・問題解決的な授業を行い、ともに考えあい対話する授業をすることで、「教室」を学びあう共同体に転換していく取組が提案されました。

②「ともに分かち合おう!吹田市の宝となる授業実践」-学研発-

明日からの授業で実践可能な指導法や教材を、参加型、クイズ形式、プレゼンテーション等を通じて共有しました。

<小学校図工部> 「アートカードを使った『鑑賞』指導」

< 小学校体育部 > 「今しか聞けない体育の基本的なことを学び、今後の実践に生かそう!」

<小学校家庭科部> 「キャリア教育の視点を取り入れた家庭科学習のあり方」

<小学校道徳部> 「豊かな心と未来を拓く生きる力の育成」

〈中学校道徳部〉 「こころを元気にする道徳」

◆とても工夫された授業実践を見ることができて大変有意義だった。

◆授業ですぐ活用できるものが多くとても参考になった。

◆学研各部の取組を知ることができ、よい機会だった。



B分科会 授業改革

①「英語教育から授業改革!そして、小中の架け橋に!!」

電子黒板や、Google Earth を活用した、担任がひとりで行う45分の英語活動模擬授業の提案、中学校英語科授業改善のための学習指導ツールの紹介を行った後、関西大学池田真生子准教授より、「小中連携の視点で英語教育を考える」と題してご講演をいただきました。

②「もうここまで来ている 情報教育」

9年間を見通した情報モラル教育カリキュラムの提案と、電子黒板活用例の紹介に続いて、Web会議システムの紹介を行いました。メイシアターと片山中学校とでのテレビ会議の実演がありました。



- ◆英語の授業は楽しかった。
- ◆電子黒板やグーグルは興味深く、ぜひ活用してみたい。
- ◆中学校での新出文法を生徒に理解させるための工夫が参考に なった。
- ◆情報教育について、どれも具体的でわかりやすかった。

C分科会 言語力育成

- ① パネルシアター「ビオトープってなあに?」(小学校学研学校図書館部) パネルシアターを活用し、「ビオトープのしくみ」を視覚で捉え、会話しながら表現する活動から、読書活動へと発展させる実践等が紹介されました。
- ②「国語力・表現力の育成をめざした実践報告」
 - (1) 山田第二小学校「伝え合い・認め合い・心豊かな子どもを育てる」 〇1年目「読む力」2年目「表現する力」3年目「伝え合う力」の育 成に向けた系統的な取組の報告や、6年の実践報告がありました。
 - (2) 山田第三小学校「聞こう 話そう 伝え合おう」 〇国語科を中心とした研究授業等の取組から、全教科を通じたコミュニケーションカの育成に発展させた研究についての報告がなされました。



〇電子黒板を活用し、昔話・俳句や古文の内容を授業に取り入れた模擬授業の実践提案を行いました。 た。

※大阪府教育委員会岩佐美奈子指導主事より、国語科の授業改善の観点、今、求められている国語の 学力について等の指導助言をいただきました。

- ◆提案者の若いエネルギーを感じた。吹田の教師の心意気を感じる。これからの吹田が楽しみだ。
- ◆小中連携において、小学校の授業を受けての中学校の授業のあり方を考えさせられた。

D分科会 幼稚園教育·特別支援教育

- ①吹三幼稚園「みんなでつくろう たのしいなつまつりー夏祭りを通して子どもの育ちを考えるー」 〇「子ども達が持っている力と、意識して育てる力」を教師間で十分検討し、子どもの話し合い活動を中心に取組を進め、子どもたちにとっても満足できる活動になったことが報告されました。
- ②発達理解研究グループ 幼児保育グループ 「一人ひとりの子どもの「困り感」に寄り添った支援に ついて考える」



〇一日の流れの見通しを持つ支援、一月の流れの見通しがもてる支援、初めてのことやその他のことについての支援の三点について、寸劇も交えて紹介がありました。

③発達理解研究グループ 小学校授業グループ 「だれもがわかりやすい授業づくり-特別支援教育の視点から-」

〇どの子も楽しく充実してすごすために、「個別の理解と支援」「学習集団作り」「授業づくり」を大きな3本柱と考え、「授業で使える支援」として

282 項目にわたる支援方法が提案されました。

④発達理解研究グループ 巧緻運動グループ 「授業中の運動面の支援」

〇支援の方法を「子どもに直接働きかける方法」と「環境を変えて成功しやすくする代替方法」に わけて説明し、リコーダーやコンパスの支援方法について提示されました。

※京都府立桃山養護学校鉾山智子総括主事より、リーフレットやチェックリスト等、個に応じた指導につながるヒントが数多くあり、吹田の財産としてほしいとの講評をいただきました。また、大阪発達総合療育センター辻薫作業療法士より、すべての子どもの社会自立の道を開くためにも、これから

も教育の場へ作業科学を生かす取組を広げてほしいとの指導助言をいただきました。

- ◆ビデオや写真、劇を取り入れての事例紹介がわかりやすかった。
- ◆支援チェック表や授業で使える支援がとてもよかった。



E分科会 生徒指導

①講演「有害情報対策について」~携帯電話がもたらす弊害とその対策について~



大阪府警察本部福山剛警部補より、防犯面において、第3者の視線がないインターネット世界と人の視線がある現実世界では大きな違いがあること、有害なサイトの全てが違法とは限らず、取り締まることはできないので、アクセスできないようにする必要があることや、コミュニケーションサイトの危険性についてのお話がありま

した。また、ネットいじめの対策として、事前には、「行為をしにくい環境を作る」「フィルタリングを外させない」こと、事後には「相手を突き止め二度とさせないように指導する」「被害者の心のケア」をご指導いただきました。

②パネルディスカッション 「吹田市における携帯・ネット上のトラブルの現状と課題」

はじめに、吹田市教育委員会指導主事より、吹田市における現状と課題についての報告、中学校教諭よりの事例報告の後、小・中学校教諭、保護者、携帯電話業者代表、指導主事とで意見交流が行われました。携帯電話を安易に早く与えないこと、子どものSOSのサインを見逃さないこと等の意見が出されました。また、携帯電話のマイナス面に対する業者の取組、情報モラル教育教材紹介等についての紹介もありました。



- ◆小中学校の子どもがいるので、大変興味深く拝聴した。保護者がネット社会の現状を把握し、問題意識を持って子どもに指導していきたいと思った。
- ◆生徒指導上、携帯電話が大きな課題になっています。様々な立場の方々にお話をうかがえて参考になった。

展示報告

〇小学校社会科部、小学校生活科部、小学校算数部、小学校音楽部、

小学校支援教育部、中学校支援教育部、市立幼稚園教育研究会、教育委員会教育政策室、教育委員会指導課よりの報告がありました。それぞれ限られた時間の中で、参加者が熱心に参観していました。



詳細は、後日報告集を各学校・園宛に(各学年に 1 冊程度)送付いたしますので、ぜひご覧ください。